

中学生の職場体験を支援



心肺蘇生法を体験する生徒達



基本教練、自分の腕が重い・・・



ちよだ艦内の減圧室にて



信号ラッパに興味深々



気分は艦長♪



神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚3陸佐）は、12月15日（火）及び16日（水）の2日間、横浜市立生麦中学校18名（生徒17名、教諭1名）に対して、「総合的な学習の時間」の一環として、高等工科学校及び横須賀地方総監部における職場体験の支援を行った。高等工科学校では、基本教練や救急法などの陸上自衛官の訓練の一端を体験した。また、海上自衛隊横須賀地方総監部では、曳船による港内クルーズと潜水艦救難母艦「ちよだ」の見学を通し、海上自衛隊の業務の一端を学んだ。

生徒からは「自衛官は無口で怖い人というイメージがあったが、みんな優しくとても良い人たちだった」、「遅しくカッコイイ自衛官によって日本が守られていることを知ることができてよかった」などの声を聞くことができた。

横浜出張所は、「今後も、学校と密接に連携し、自衛隊の真摯な姿を広報していきたい」としている。

「厚木市議会議員」に対し自衛官候補生募集協力を依頼

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、12月17日（木）、厚木市役所議員事務局において厚木市議会議員10名に対し、自衛官候補生募集協力を依頼した。

本活動は厚木市防衛議員連盟に所属する難波氏に対し、「自衛官候補生」の募集の厳しい現状を説明したところ、「なるべく多くの方に周知する機会を作りましょう」と、実現に至ったものである。

所長からは自衛官候補生の募集状況等を伝達し、市議からは「自衛官候補生の給料は？」や「任期制隊員の任期って何年？」など多くの質問とともに「積極的に協力したい」との発言があった。

普段はあまり関わることのない防衛議員連盟以外の市議も多数参加をいただき、新たな志願者獲得のため有意義な活動ができた。

厚木募集案内所は、「今後も、あらゆる手段をもって担当地区市民に自衛官候補生募集の現状について発信し、情報提供を受けることで募集目標の必達を期す」としている。

自衛隊を知る

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井1海尉）は、12月18日（金）、東京農業大学厚木キャンパスで実施された「業界研究」に参加した。

本イベントは、様々な業界の現状や将来性、求める社員・職員像を伝え、様々な分野に興味を持たせ各業界の現状と将来性を理解させることを目的に大学が実施したものである。

普段ニュースや新聞などのメディアを通じてしか知らない自衛隊の姿を広報官である自衛官から聞けるとあって、参加した学生は熱心に聴きメモを取るなどしていた。紹介後には学生から駐屯地内の生活や職種について質問を受け、初めて聞く多くことに驚きの声があがった。

厚木募集案内所は、「少子化が進み志願者が減少する昨今ではあるが、こうした学校等が実施する職業紹介や説明会などを通じ、多くの人に自衛隊を職業の一つとして認識してもらえよう努力し、志願者の獲得に努めていく」としている。